



SDGs達成に向けたイノベーション 戦略とイノベーション創発の仕組み

2018年7月4日

OKI 執行役員 チーフ・イノベーション・オフィサー (CINO)
横田俊之

本日のトピックス

- ✓ **OKIのご紹介**
- ✓ **イノベーション戦略立案 (17年度)**
- ✓ **イノベーション創発の仕組み
(18年度)**

OKIグループ事業概要



プリンター
消防指令システム
防災システム

ITS (ETC・VICS)

チェックイン端末システム

航空管制システム

官公自治体

道路

空港



GE-PONシステム
大規模IP電話システム

通信キャリア

駅



各種発券システム
情報提供端末



銀行

旅行代理店



ATM
金融営業店システム
事務集中システム

店舗

コンタクトセンター
会計システム
各種発券システム



オフィス

工場



PBX
無線LANシステム
プリンター

現金処理システム
統合決済システム
プリンター



920MHz帯マルチホップ無線



次世代社会インフラ事業推進室（2014年度～2015年度）

次世代社会インフラ事業

社会問題

労働力不足 老朽化問題 自然災害/環境問題 少子高齢化

膨大になるインフラ維持コスト/リソース不足

OKIの情報通信技術&サービス

交通・インフラ	防災・セキュリティ	エネルギー	医療情報	
 安全運転支援/自動走行 プローブデータ活用	 常時モニタリング インフラ点検・保守効率化	 セルフ防災 災害予測/避難誘導 高度監視セキュリティ	 電力自由化 エネルギーマネジメント	 医療事務効率化 ドキュメント電子化

次世代社会インフラ共通基盤サービス

無人化・省力化 M2M / IoT 空間情報 地域新事業支援

2018年1月 トムソン・ロイター 「世界の100社」に選出



2018年1月26日

トムソン・ロイター「Top 100グローバル・テクノロジー・リーダー2018」に選出

イノベーション、環境経営、魅力ある職場づくりにおいて高評価を獲得



OKIは、世界的な情報サービス会社であるトムソン・ロイター(Thomson Reuters、本社:米国ニューヨーク)による世界のテクノロジー企業を対象とした「Top 100グローバル・テクノロジー・リーダー2018」に選出されました。OKIは、イノベーション、環境経営、魅力ある職場づくりの取り組みにおいて高く評価され、今回の選出につながりました。

同社がこのたび新設した「Top 100グローバル・テクノロジー・リーダー2018」は、世界の5,000社以上のテクノロジー企業を対象に、財務、経営および投資家からの信頼、リスクとレジリエンス(危機・問題発生時等の強靭性)、法令順守、イノベーション、人的・社会的責任、環境への影響、社会からの評価という8分野における計28項目のデータをもとに、同社独自の分析手法により総合的・客観的に導き出されたものです。OKIは、この中でもイノベーション、環境への影響、人的・社会的責任という3つの分野において高評価を得ました。これは、OKIのIoT分野における特許出願の推進、環境廃棄物の排出量規制への継続的な取り組み、魅力ある職場づくりやダイバーシティの推進が評価されたものと受け止めています。

OKIは、情報社会の発展に寄与する商品を提供し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献するという企業理念のもと、これまでも紙幣選流型ATMやVoIP、コールセンターなど高いシェアを誇る商品サービスを提供してきました。近年では、920MHz帯マルチホップ無線や光ファイバーセンサーなどの特色あるIoT技術にて、交通、建設/インフラ・防災、医療、金融・流通、製造の各分野で社会のインフラを支える取り組みに注力しています。今後とも、“モノづくり・コトづくり”を通して、より安全で便利な社会のインフラを支える企業グループへの歩みを加速するため、イノベーション推進体制を強化していきます。今回の評価を励みに、OKIは企業価値向上と持続可能な社会の創造に貢献していきます。



THOMSON REUTERS
THE TOP 100 GLOBAL
TECHNOLOGY LEADERS



★★8割反対されてこそ、価値あるものが生み出せる

日本と世界の最新イノベーション事情

第25回：独立した聖域を作り、未来のために種をまく（1）

2018年5月9日（水） 西口 尚宏



左から本田技術研究所の松本宣之社長、沖電気工業の川崎秀一会長（写真：北山 宏一、以下同）

自動車業界では唯一、R&D部門として本社から独立した本田技術研究所、BtoBで明治以来、日本の情報通信の技術革新をリードしてきた沖電気工業（OKI）。両社とも、社内に聖域を作り、中長期にイノベーションを行う仕組みを構築し始めている。

「イノベーション100委員会」（※）で、2社の経営者が語った経営革新、そして人事評価・組織のあり方とはいかなるものだろうか。

本田技術研究所はなぜ作られたのか。そこには、創業者である本田宗一郎氏と、名参謀といわれた藤沢武夫氏の「イノベーション至上主義」ともいえる思惑があった。その精神は今に引き継がれるが、内実は簡単ではないようだ。

松本：その戦略が正しかったということは、今日までに証明されています。しかし、そうした研究所の独立性も、やはり常にそれを意識していないと、年月とともに風化してしまうものです。

日々の事業をオペレーションする本体からのプレッシャーもありますし、研究所内部においても、やはり、新しいものを生み出すのは苦しいチャレンジですから、少しずつ、進取の精神が削られていってしまう傾向があるのです。

ゆえに、研究所のトップは、常に研究所の存在意義を発信し、イノベーションへのチャレンジを鼓舞していく、そういう役割を負っているのです。

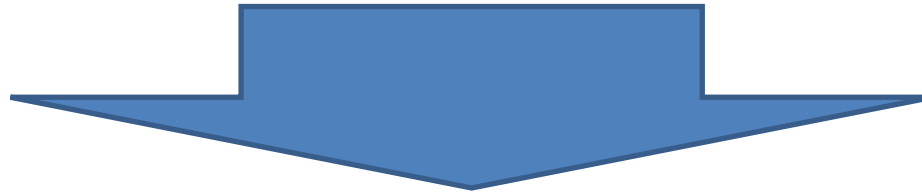
効率とは真逆の文化が必要

OKIの川崎秀一氏（以下、川崎）：つまり、Hondaさんは創業の時からすでに、生産性と創造性の両方を追求する“二階建て経営”をされていたわけですね。



川崎 秀一（かわさき・ひでいち）氏
沖電気工業代表取締役会長。1970年、沖電気工業入社。入社以来、20年あまり金融部門の営業畑を歩んだ後、NTT営業本部長、ネットワークシステムカンパニープレジデント、営業推進本部長などを経て、2009年に代表取締役社長に就任。2016年4月より現職。

- ✓ **高い技術力を持っているのに、持続的にイノベーションを起こす社内体制に不安。**



- ✓ **17年夏から、OKIのイノベーション・マネジメント改革が始動。**

本日のトピックス

- ✓ OKIのご紹介
- ✓ **イノベーション戦略立案**
- ✓ **イノベーション創発の仕組み**

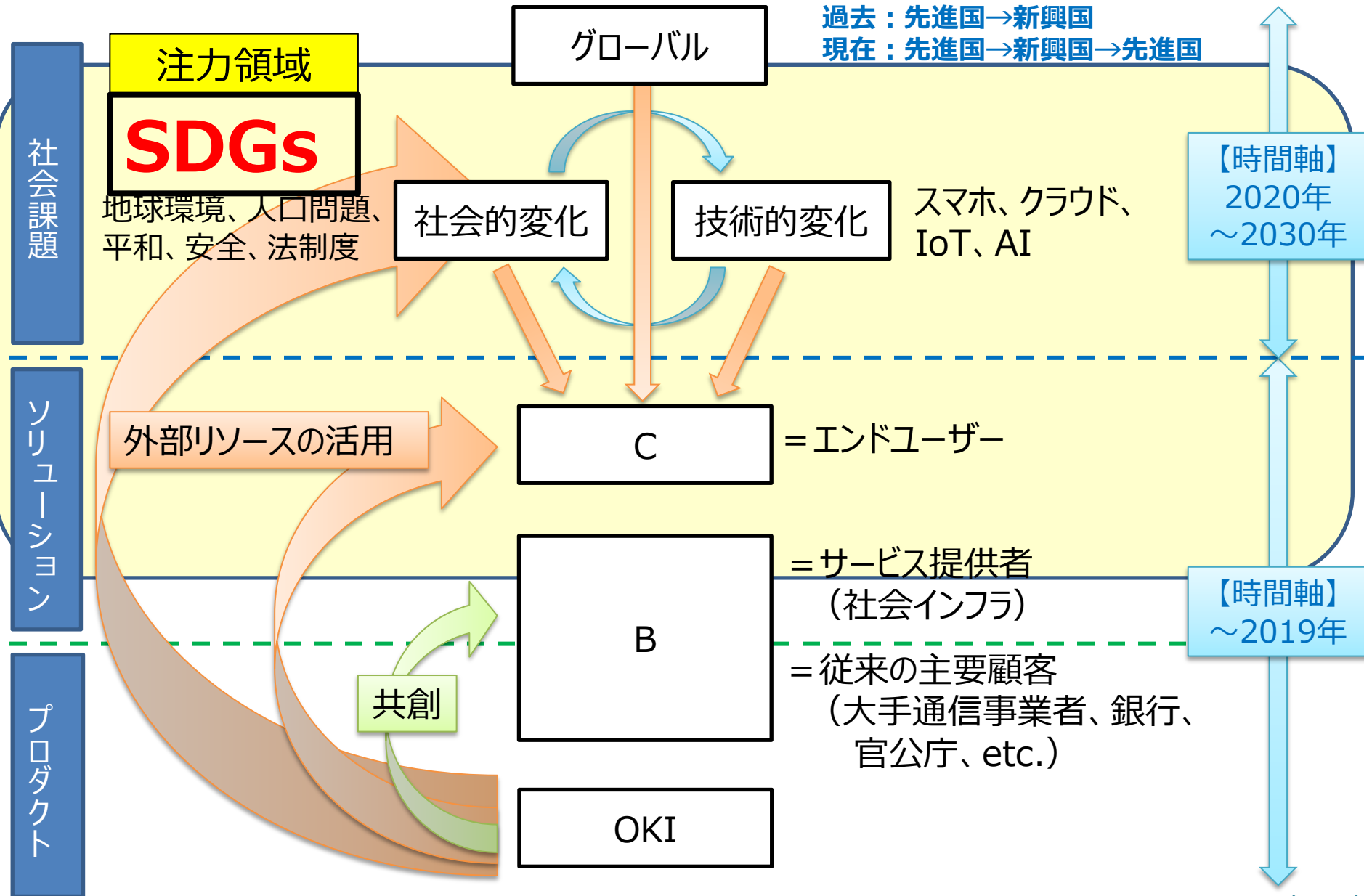
全役員を含む50名の社員にインタビューを実施（昨年夏）



イノベーション・コンパス（羅針盤）に従って生声を分類



環境変化





持続可能な社会に向けて OKI Open up your dreams

国連において、17個の持続可能なゴール (SDGs) を設定

1 貧困をなくそう	2 真実をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が抱える17の課題を解決しよう

OKIプレミアムフェア2017で講演する鎌上社長

第1回 SDGsイノベーションWS

12月26日にOKI経営陣を対象とするSDGsイノベーションワークショップを開催。
UNDP Facebookページにも掲載。

<https://www.facebook.com/UndpTokyo/photos/pcb.1705856516140314/1706375789421720/?type=3>

facebook



UNDP Tokyoさんが写真6件を追加しました。

2017年12月27日 · 🌐

☆SDGsを企業の経営に取り入れる～沖電気工業の挑戦～☆

昨日、沖電気工業(株)にて #UNDP とJIN(Japan Innovation Network)が共同運営する「SHIP(SDGs Holistic Innovation Platform)」のSDGs エグゼクティブプログラムを開催しました。

SDGsのゴールにはIoT等の活用や、企業の技術やノウハウを活用し、共創によって解決できる課題がたくさん詰まっています。

沖電気工業の経営陣のみなさまにSDGsの17のゴールについてご説明し、一緒に持続可能な社会のデザインをすることで、企業としての提供価値や新たな機会について議論しました。

川崎会長からは、「ビジネスとしての可能性を感じていたSDGsについて経営陣と議論し、共有できたことがよかった。しっかり具現化していこう」という心強いお言葉をいただきました。

また、鎌上社長は「SDGsと事業の繋がりの認識をしていたが、ビジュアル化することによって、各ゴールの繋がりを知り、事業機会を発見することができた」と次へのステップへの期待も表明されていました。

企業にとって、社会にとって、ビジネスが提供できる「本質的な価値」を見つめ直し、「安全と便利」をキーワードに、持続可能な社会の構築に向けて貢献できる可能性がまだまだあることを実感するワークショップとなりました。

様々な社会のインフラを支える沖電気工業の、SDGsへの貢献を通じた次の時代の活躍に期待しています！



SDGsワークショップに参加したOKI経営陣と
UNDP駐日代表近藤様（前列左から3番目）、JIN西口専務理事（前列左から2番目）

第2回 SDGsイノベーションWS

4月10日にOKI経営陣を対象とする第2回SDGsイノベーションワークショップを開催。
新任役員も参加。イントラに記事を掲載。

<http://www-ipd.oii.oki.co.jp/events/index.shtml>



第2回SDGsイノベーションワークショップに参加された役員の皆さんと
JINの西口専務理事(右から2番目)



上からBMCの説明をされる鎌上社長、
立ち上がって議論される役員の方の皆さん

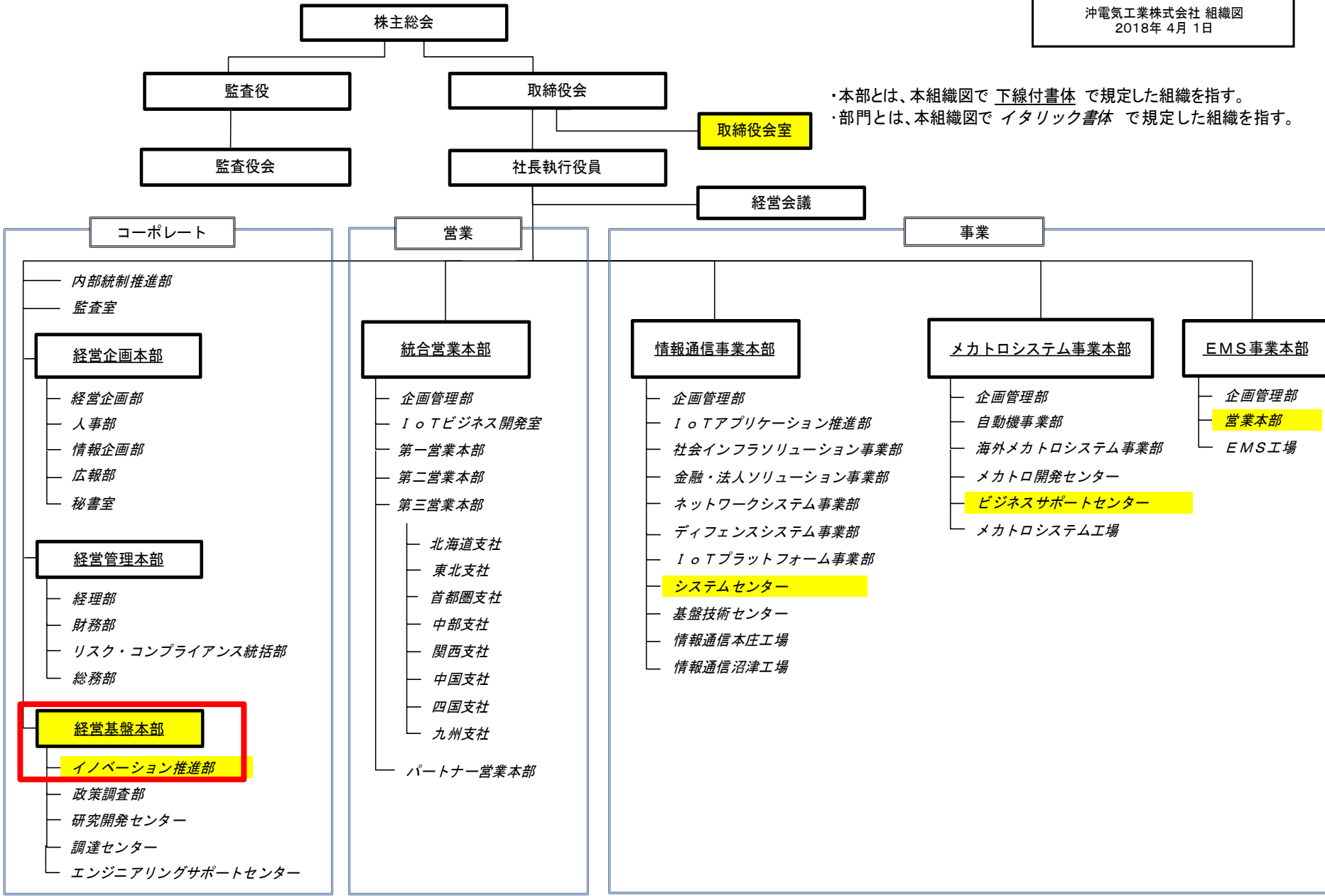
本日のトピックス

- ✓ OKIのご紹介
- ✓ イノベーション戦略作成
- ✓ イノベーション創発の仕組み

2018年4月1日付 組織図



沖電気工業株式会社 組織図
2018年 4月 1日



・本部とは、本組織図で 下線付書体 で規定した組織を指す。
 ・部門とは、本組織図で イタリック書体 で規定した組織を指す。

経営基盤本部
イノベーション推進部

取締役会室

メカトロシステム事業本部

EMS事業本部

情報通信事業本部

統合営業本部

経営企画本部

経営管理本部

OKI イノベーション創発の仕組み



(SDGsに掲げられた社会課題からイノベーション創出)

1. Yume Pro

2. イノベーション・ルーム Yume ST (夢スタ)

(社内文化改革)

3. イノベーション研修

4. イノベーション・ダイアログ

5. 社内外への積極的な発信

OKIのコーポレートスローガン

OKI *Open up your dreams*

OKIのブランドスローガンは、
世界の人々の心豊かで安心、安全な夢の社会への扉を開くことを表しています。
また、夢や希望が現実のものとなる情報社会を目指す
私たちOKIの夢の実現をも表現しています。

「あなたの夢を拓く」「想いを実現する」
それがブランドスローガンに込めたOKIの約束です。

—OKIは夢の扉を開きます—



Yume Proとは

複雑かつ中長期に亘る社会課題の解決（SDGs）を目指し、情報通信技術を活用してパートナーの皆さんと共に世界の人々が安全と便利を両立した生活しやすい環境を創るためのOKIのイノベーション創出活動、それがYume Proです。

続きを読む



1. SDGsに掲げられている社会課題から事業機会を発掘
2. ジャパン・イノベーション・ネットワークをパートナー
3. 「イノベーション・パートナーとしてのOKI」のブランドを3年で獲得
4. PoC予算、事業部・統営本と緊密な連携などにより、リーンスタートアップが可能な体制
5. ゲートウェイで進捗を管理（P/LをKPIにしない）

Yume Pro 当面の注力分野



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



テーマ



医療



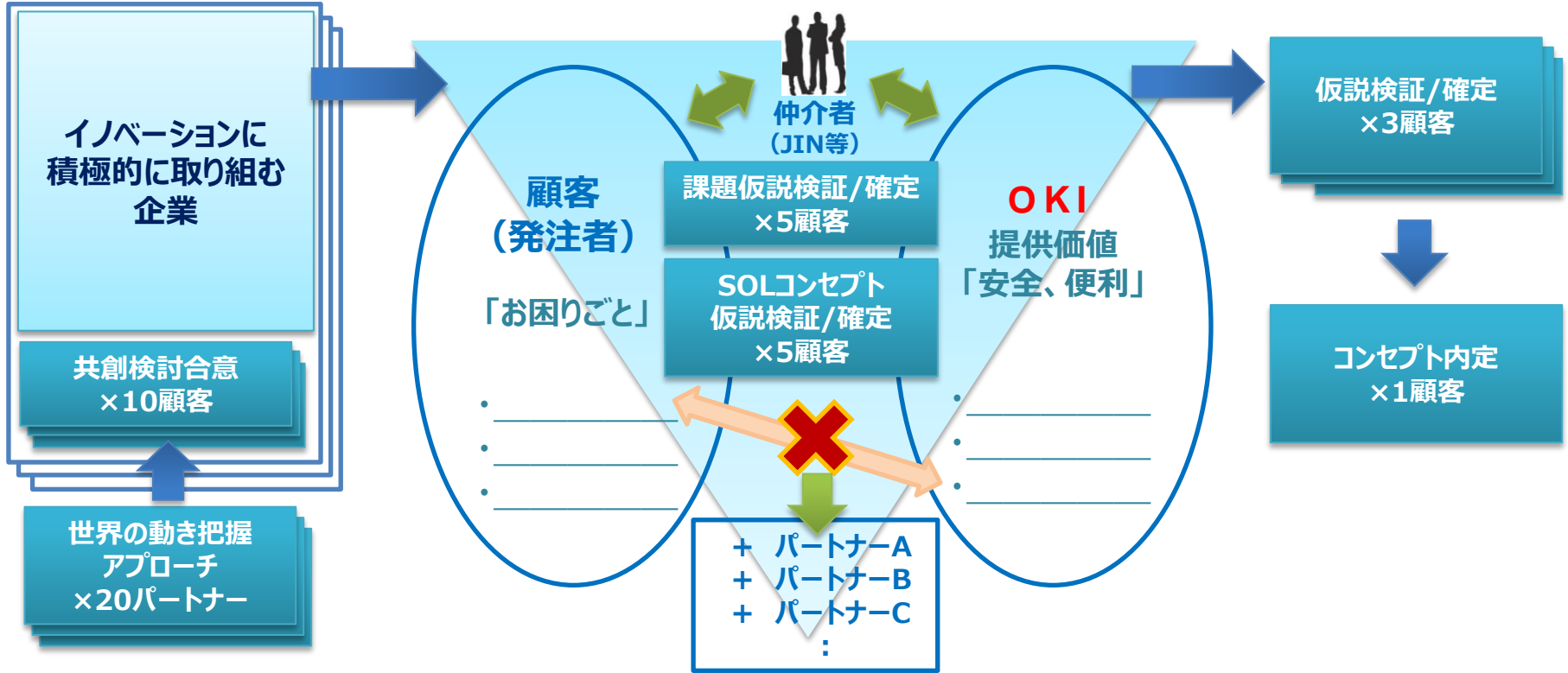
物流



住宅・生活



「Yume Pro」の事業仮説作りのイメージとKPI目標



パイプライン管理のイメージ



イスラエル デジタルヘルスケア イノベーション最前線セミナー

オープンイノベーションの更なる加速を目的として、デジタルヘルスケア分野でイノベーションを目指している企業様向けに、世界最先端の情報をお届けするセミナーをJINとOKIで共同開催します。

日時：7月31日（火） 14:00～19:00 開場13:30

場所：BASEQ 6F（東京ミッドタウン日比谷）東京都千代田区有楽町1-1-2

定員：200名【参加費 無料】

スケジュール	テーマ
14:00 ~ 14:10	オープニングのご挨拶
14:10 ~ 14:20	イスラエルと日本の架け橋
14:20 ~ 14:35	日本の政策動向
14:35 ~ 14:55	イスラエル政府のデジタルヘルスケアへの取り組み
14:55 ~ 15:25	パネルディスカッション、Q&A
(休憩)	
15:35 ~ 15:55	高齢者の課題解決
15:55 ~ 16:15	病院イノベーションセンター
16:15 ~ 16:35	ヘルステックとライフサイエンスに特化したVC
16:35 ~ 16:55	デジタルヘルスとリバーシイノベーションの可能性
16:55 ~ 17:30	パネルディスカッション、Q&A
(会場移動)	
17:35 ~ 19:00	ネットワーキング



Japan
Innovation
Network



共同開催：一般社団法人Japan Innovation Network

www.ji-network.org

沖電気工業株式会社 Yume Proホームページ

http://www.oki.com/jp/yume_pro/

デジタルヘルスケアやリバーシイノベーションの可能性について、ご関心をお持ちの方は、是非この機会にご参加ください (23/32)

14:00~14:10

オープニングのご挨拶



一般社団法人
Japan Innovation Network (JIN)
専務理事 **西口 尚宏**



沖電気工業株式会社
執行役員
Chief Innovation Officer (CINO)
横田 俊之

14:10~14:20

イスラエルと日本の架け橋



イスラエル大使館 経済部
経済公使 **Noa Asher**

14:20~14:35

日本の政策動向



経済産業省 ヘルスケア産業課
課長 **西川 和見**

14:35~14:55

イスラエル政府の デジタルヘルスケアへの取り組み



イスラエル政府 保健省
Chief Information Officer(CIO)
Shira Lev-Ami

15:35~15:55

高齢者の課題解決



Center for Digital Innovation
(CDI)
共同創設者 & CFO
Boaz Gur-Lavie

15:55~16:15

病院イノベーションセンター



Sheba Medical Center
Sheba Innovation Center 所長
Dr. Nathalie Bloch

16:15~16:35

ヘルステックとライフサイエンスに 特化したVC



aMoon
共同創設者 & マネージングパートナー
Dr. Yair Schindel

16:35~16:55

デジタルヘルスと リバースイノベーションの可能性



沖電気工業株式会社
経営基盤本部 イノベーション推進部長
大武 元康

2. イノベーション・ルーム「Yume ST」(夢スタ)



空間の中にある2本の樹木はOKIとパートナーを表し、
その間にかかる「うんてい」は両社の絆を表現しています。
壁全面はツリーハウスの周りの雲となり、雲に描ける遊び心を引き立てます。

3. イノベーション研修

- ✓ 経営層から展開
- ✓ 今年度1000名を対象に実施
- ✓ 新規事業と既存事業野革新がテーマで
間接部門の社員も参加
- ✓ 研修修了者にSDGsピンバッジを授与
(2千個調達)

4. イノベーション・ダイアログ

- ✓ 250名の社員を対象に20回開催予定
- ✓ 社長とOKIの改革について、ざっくばらんな意見交換
- ✓ 参加者の取組みを「Yume Proマイチャレンジ」として発信予定



鎌上社長と真剣に議論をする社員



上: 対談風景、下: 鎌上社長と横田執行役員

5. 社内外への積極的な発信

OKIホームページに「イノベーションサイト」を開設

Yume Pro 夢トーク コラム イベント アクセス お問い合わせ



Yume Proとは

複雑かつ中長期に亘る社会課題の解決（SDGs）を目指し、情報通信技術を活用してパートナーの皆さんと共に世界の人々が安全と便利を両立した生活しやすい環境を創るためのOKIのイノベーション創出活動、それがYume Proです。

続きを読む

OUR MISSION



OKIのイノベーション創出への取り組み

2017年に発表した中期経営計画では、ビジョンとして「モノづくり・コトづくりを通して、より安全で便利な社会のインフラを支える企業グループ」の実現を掲げ、様々なイノベーション創出にチャレンジしています。

続きを読む

http://www.oki.com/jp/yume_pro/about/message.html

3/17 i.school・JSICシンポジウム

eiicon

日本企業はどうすれば
イノベーションを
起こせるのか——?

 OKI

沖電気工業

横田俊之氏が答える

日程：2018年3月17日（土）13:00～16:30

会場：東大本郷キャンパス内 工学部2号館213号大講義室

eiicon（オープンイノベーションサイト）にて配信中

<https://eiicon.net/articles/437>

5/15 インド最前線セミナー



インド最前線セミナー

【インドプログラム実施報告会】

ヘルスケア × IoT

～インドからリバーズイノベーションの機会を探る～

東京大学発の教育プログラム「i.school」と一般社団法人Japan Innovation Network (JIN) は、「ヘルスケア×IoT」をテーマに、2018年3月4日から10日にかけて、インドからリバーズイノベーションの機会を探るプログラムを開催しました。

市場としてインドに注目されている企業様や、ヘルスケア分野でイノベーションを目指したい企業様向けに、当該プログラムの報告会を兼ねて、インドのヘルスケア事情について最前線の情報をお届けするセミナーを実施します。

日時 **2018年5月15日(火) 15時半-19時**

場所 **ジェトロ本部5階 会議室A・B・C**
(港区赤坂1-12-32 アーク森ビル)

主催: i.school、一般社団法人Japan Innovation Network
共催: 日本貿易振興機構(ジェトロ)

当日のプログラム

プログラム主旨説明 & 実施報告

i.schoolディレクター/JIN常務理事 堀井秀之

参加者が語るインドヘルスケア事情の最前線
「インドからのリバーズイノベーションの可能性」
沖電気工業株式会社 経営基盤本部 イノベーション推進部長 大武 元康氏

APISNOTE⁺ミニワークショップ

i.schoolディレクター/JIN常務理事 堀井秀之

* APISNOTEはイノベーションを生み出すために、ワークショッププロセスをデジタル上に記録し、参加者とのコミュニケーションを円滑に図るためのツールです。

ご清聴ありがとうございました